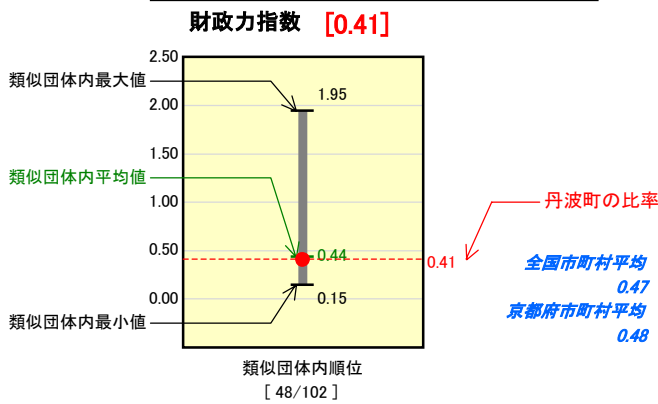


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

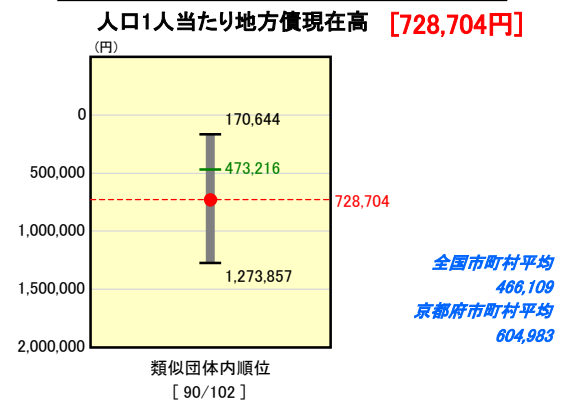
京都府 丹波町

人口	8,719人(H17.3.31現在)
面積	74.09 km ²
歳入総額	4,688,631千円
歳出総額	4,614,904千円
実質収支	10,154千円

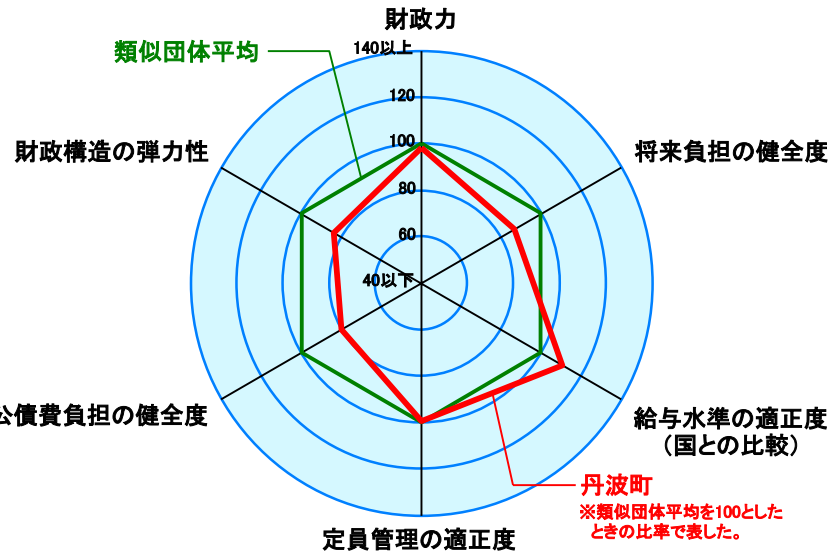
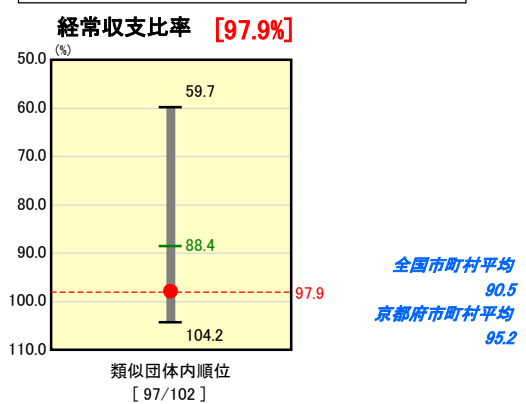
財政力



将来負担の健全度

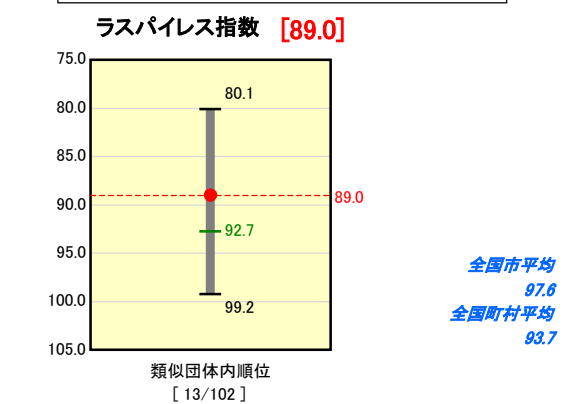


財政構造の弾力性

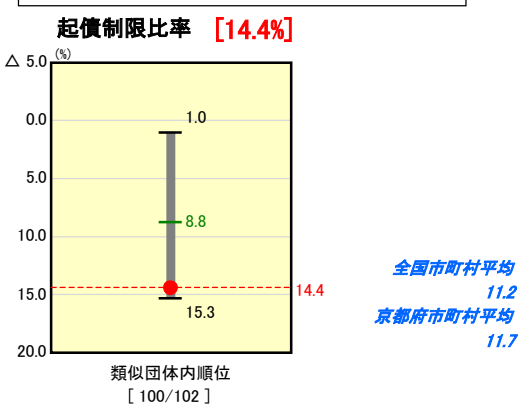


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



分析欄

【財政力指数】
 投資的経費を抑制する等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、税收の徴収率向上(3年間で約2%の向上)や滞納徴収体制の強化等を行い、財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】
 扶助費や公債費等の増加により、前年度に比べ5.2%上昇した。事務経費や人件費の削減を実施してきたが、今後も引き続き経常経費の抑制に努めるとともに、町税等の徴収率の引き上げに積極的に取り組む。

【起債制限比率】
 類似団体平均を大幅に上回っており、前年度に比べ1.1%上昇した。統合小学校事業などの大型事業がほぼ完了したところであり、地方債の償還が現在ピークを迎えている。平成13年度以降、地方債の発行額を徹底的に抑制していることから、今後は緩やかに減少していくものと考えられる。

【人口1人当たり地方債現在高】
 近年、地方債の発行額を抑制していることから、前年度に比べ減少した。今後も引き続き新規発行を抑制し、財政の健全化に努める。

【ラスパイレズ指数】
 類似団体平均に比べ低い水準であり、今後も給与の適正化を図る。

【人口1,000人当たりの職員数】
 かねてより定員管理に努めているが、類似団体平均を若干上回っている。今後も合併を視野に入れながら、より適切な定員管理に努める。

定員管理の適正度

